学校番号	301

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	(学)書道演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」　（東京書籍）						
副教材等	新訂　ペン習字教本　（教育出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業、書道Ⅰ・Ⅱで学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・平仮名から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の多様な文字や書，書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めるとともに，書の伝統に基づき，創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

【 学びに向かう力、人間性等 】

主体的に書の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を磨き，書の伝統と文化を尊重し，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現方法や形式､書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき､作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の創造活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに感性を高め、書の伝統と文化と豊かに関わり、書を通して心豊かな生活や社会を創造する態度を育もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知技(a)	思判表(b)	主(c)
一学期	漢字の書　篆書	篆書の美 「散氏盤」 「詔版」 「篆書張茂先励志詩」 鑑賞－書の美や風趣を味わおう－	a:書道Ⅰ・Ⅱの篆書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、篆書の美の多様性について理解を深める。 b:篆書の古典の概要について理解して臨書し、篆書の美を創造的に表現するための技能を身に付ける。 c:篆書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合う。	・レポート ・ポートフォリオ	・レポート ・作品 ・ポートフォリオ	ワークシート ・レポート
二学期	漢字の書　隷書	隷書の美 「里耶秦簡」 「萊子侯刻石」 「石門頌」 鑑賞－書の美や風趣を味わおう－	a:書道Ⅰ・Ⅱの隷書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、隷書の美の多様性について理解を深める。 b:隷書の古典の概要について理解して臨書し、隷書の美を創造的に表現するための技能を身に付ける。 c:隷書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合う。	・作品 ・ポートフォリオ	・レポート ・作品 ・ポートフォリオ	・作品 ・ワークシート ・レポート
	漢字の書　草書・行書	草書・行書の美 「喪乱帖」 「草書千字文」 「李太白憶旧遊詩巻」 「前後赤壁賦」 コラム:書論 三跡－和様の書へ－ 鑑賞－書の美や風趣を味わおう－ コラム:日中書道の交流	a:書道Ⅰ・Ⅱの草書・行書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、草書・行書の美の多様性について理解を深める。 b:草書・行書の古典の概要について理解して臨書し、草書・行書の美を創造的に表現するための技能を身に付ける。 c:草書・行書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合う。	・作品 ・ポートフォリオ	レポート ・作品 ・ポートフォリオ	・作品 ・ワークシート ・レポート

三学期	漢字の書　楷書	楷書の美 「爨宝子碑」 「天柱山遊息題字」 「賢愚経(大聖武)」 鑑賞－書の美や風趣を味わおう－	a:書道Ⅰ・Ⅱの楷書の学習を踏まえて古典を鑑賞し、字形や線質、構成などの表現性や、楷書の美の多様性について理解を深める。 b:楷書の古典の概要について理解して臨書し、楷書の美を創造的に表現するための技能を身に付ける。 c:楷書の古典の表現を自らの書風として昇華させた作品を鑑賞し、古典を生かした創造的な表現について話し合う。	作品・ポートフォリオ	レポート・作品・ポートフォリオ	・作品 ・ワークシート ・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度